

漢字に関する調査結果について（2）

- ① 常用漢字以外の漢字の使用
- ② 常用漢字表の漢字の数
- ③ 表記の仕方（手書きの場合とパソコン・ワープロ等の場合）

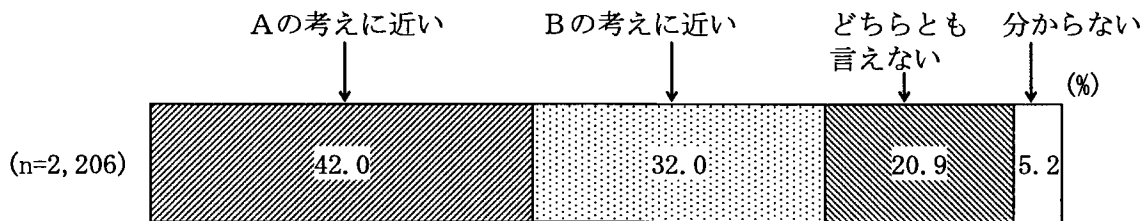
- ① : 平成15年度『国語に関する世論調査』（平成16年1月調査，文化庁）
②，③ : 平成16年度『国語に関する世論調査』（平成17年1月調査，文化庁）

1

常用漢字以外の漢字の使用

問 3 [回答票] 新聞や放送など、一般の社会生活における漢字使用の目安として「常用漢字表」が示されています。この「常用漢字表」は、それ以前の「当用漢字表」を引き継いだもので、この表には、全部で1945字の常用漢字が掲げられています。最近、パソコンや携帯電話などで、常用漢字でない漢字も簡単に打ち出せるようになっていますが、常用漢字以外の漢字の使用については、ここに挙げるような二つの考え方があります。あなたの考えに近いのはどちらですか。

- A 常用漢字表にない漢字であっても、積極的に使っていきべきである
 B 難しい漢字も使われるようになるので、余り望ましいことではない



常用漢字以外の漢字の使用について、「A 常用漢字表にない漢字であっても、積極的に使っていきべきである」と「B 難しい漢字も使われるようになるので、余り望ましいことではない」の二つの考え方のどちらに近いかを尋ねた。

「Aの考えに近い」が42.0%と、「Bの考えに近い」の32.0%を10ポイント上回る結果となった。また、「どちらとも言えない」と意見を保留した人の割合は20.9%となっている。

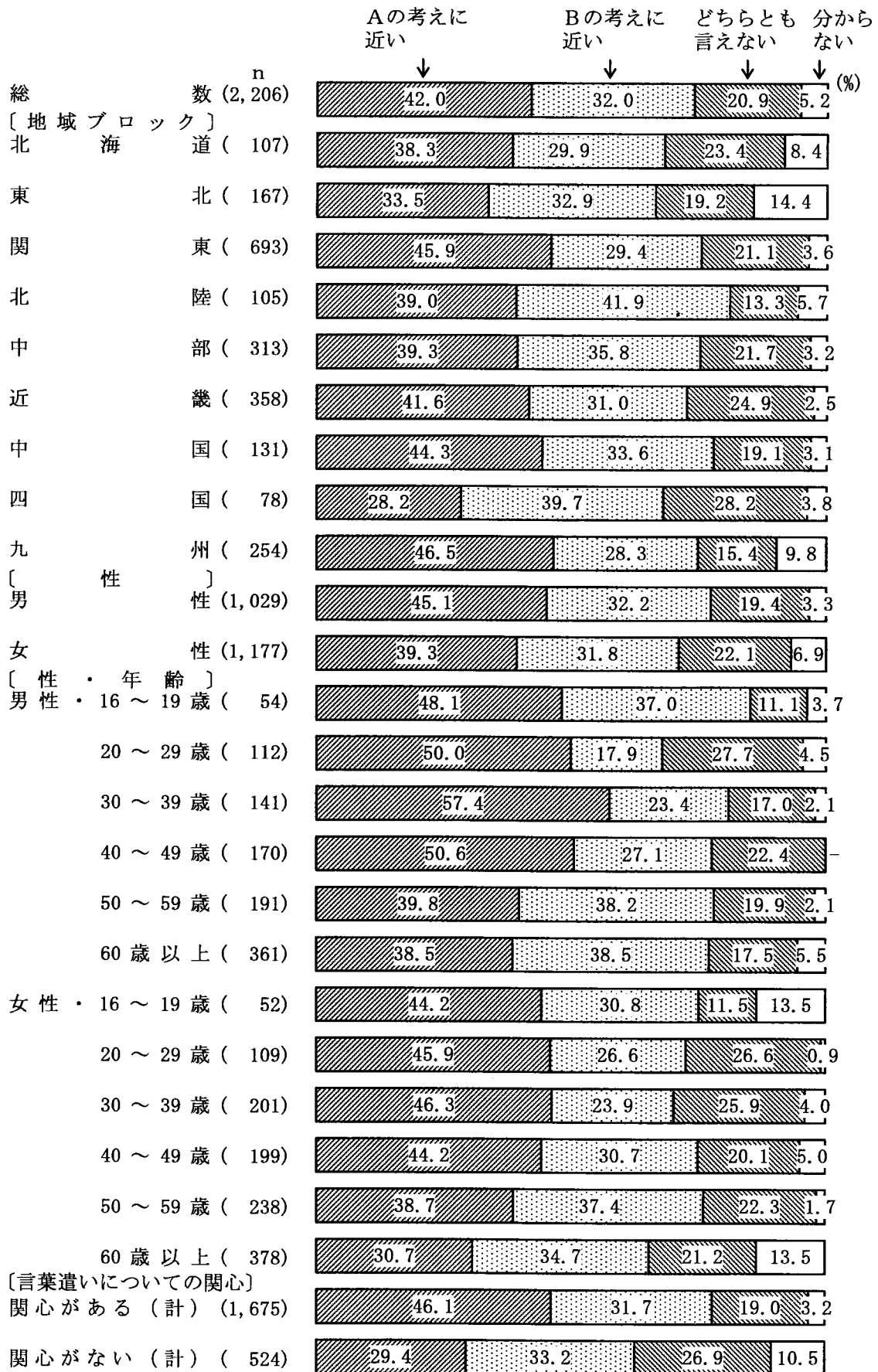
地域ブロック別に見ると、「Aの考えに近い」の割合は関東(45.9%)、近畿(41.6%)、中国(44.3%)、九州(46.5%)で4割台となっており、これらの地域では「Bの考えに近い」を10ポイント以上、上回っている。一方、「Bの考えに近い」は北陸(41.9%)と四国(39.7%)で4割前後と他の地域よりも高くなっている。「Aの考えに近い」よりも北陸では3ポイント弱、四国では10ポイント以上、それぞれ上回っている。

性別に見ると、「Aの考えに近い」の割合は女性(39.3%)よりも男性(45.1%)で高いが、「Bの考えに近い」の割合には余り差が見られない。

性・年齢別に見ると、「Aの考えに近い」の割合は男性の20~40代で5割台と高く、男女ともに40代以下の性・年代では「Aの考えに近い」の割合が「Bの考えに近い」の割合を上回っている。一方、「Bの考えに近い」の割合は男女ともに50代以上で高く、これらの性・年代では「Aの考えに近い」の割合と同水準か、若しくはそれを上回っている。

問1の言葉遣いについての関心別に見ると、「Aの考えに近い」の割合は「関心がある(計)」と回答していた人で高く、「関心がない(計)」と回答していた人は、「Bの考えに近い」の割合が高くなっている。(図2参照)

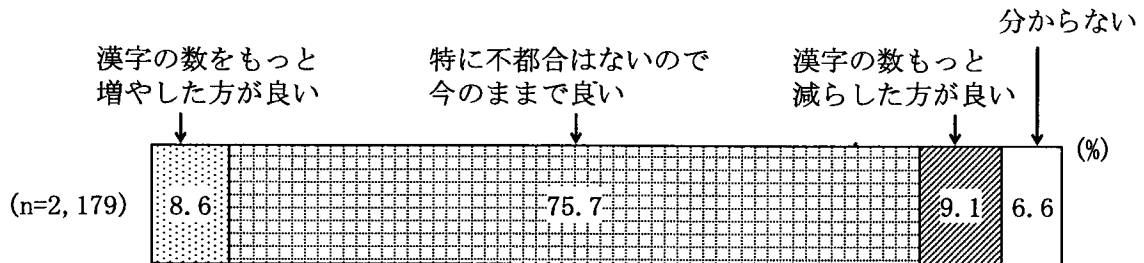
図2 常用漢字以外の漢字の使用（地域ブロック別，性別，性・年齢別，言葉遣いについての関心別）



2

常用漢字表の漢字の数

問 15〔回答票〕現代の国語を書き表すための漢字使用の目安を示した「常用漢字表」（昭和56年内閣告示）は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など一般の社会生活における漢字使用の目安として広く使われています。また、学校教育では小学校卒業までに常用漢字のうちの1006字を習い、中学校修了までに小学校での1006字を書けるようにするとともに常用漢字の大体が読めるようになることとされています。この表には1945字の漢字が掲げられていますが、それについてあなたはどのように考えますか。



現代の国語を書き表すための漢字使用の目安を示した「常用漢字表」の漢字の数をどうすれば良いと思うかを尋ねた。

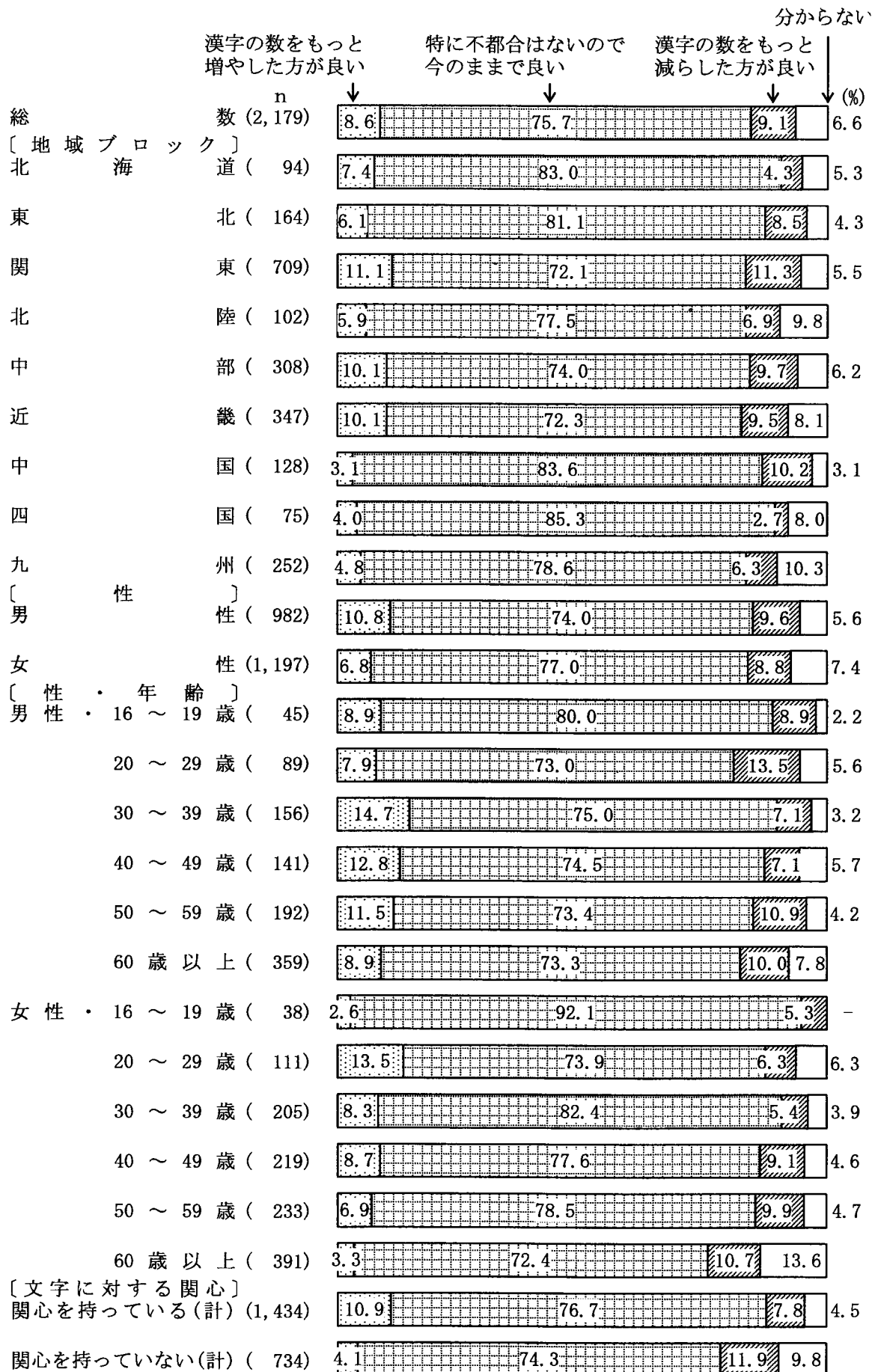
「特に不都合はないので今のままでよい」が75.7%と4分の3を占めている。「漢字の数をもっと増やした方がよい」が8.6%、「漢字の数をもっと減らした方がよい」が9.1%と、いずれも1割に満たない。

地域ブロック別に見ると、すべての地域ブロックで「特に不都合はないので今のままでよい」の割合が7割以上を占めており、北海道(83.0%)、東北(81.1%)、中国(83.6%)、四国(85.3%)で8割を超えている。一方、関東(72.1%)、中部(74.0%)、近畿(72.3%)では7割強で、「漢字の数をもっと増やした方がよい」、「漢字の数をもっと減らした方がよい」がそれぞれほぼ1割となっている。

性別に見ると、男女とも「特に不都合はないので今のままでよい」(男性74.0%、女性77.0%)が圧倒的であるが、「漢字の数をもっと増やした方がよい」(男性10.8%、女性6.8%)は男性で高くなっている。

性・年齢別に見ると、「特に不都合はないので今のままでよい」がいずれの年齢層でも多数を占めているが、女性の16～19歳(92.1%)で高くなっている。「漢字の数をもっと増やした方がよい」は男性では30代(14.7%)、女性では20代(13.5%)で最も高く、「漢字の数をもっと減らした方がよい」は男性の20代(13.5%)で高くなっている(図8参照)。

図8 常用漢字表の漢字の数（地域ブロック別，性別，性・年齢別，文字に対する関心別）



3

表記の仕方（手書きの場合とパソコン・ワープロ等の場合）

問 16-(a) [回答票] あなたは、ここに挙げる (1) から (7) までの下線を引いた語を手で書く場合どのように書きますか、書くことが多い方を選んでください。

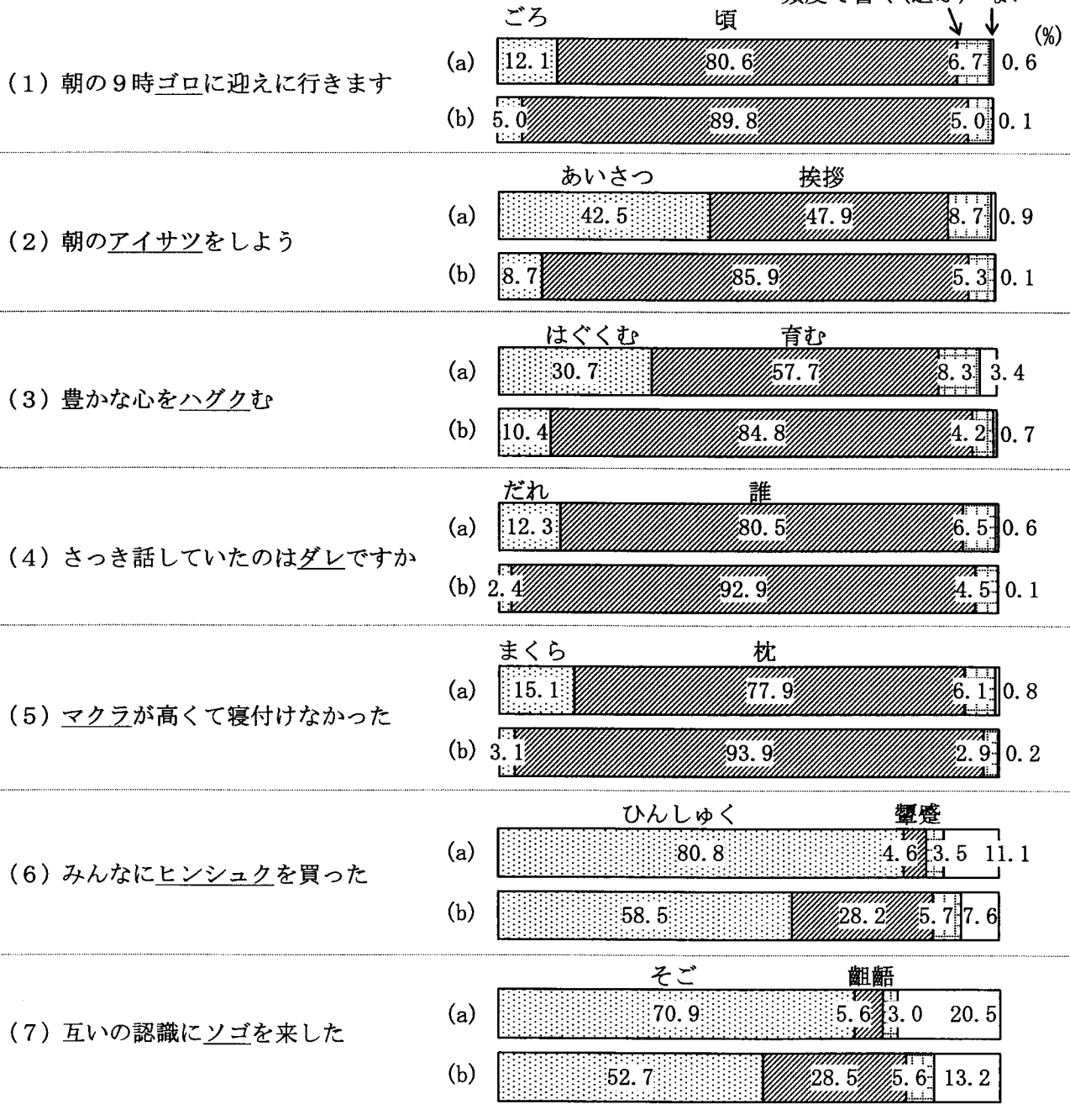
問 16-(b) [回答票] それでは、あなたは、(1) から (7) までの下線を引いた語をパソコン・ワープロ等（携帯電話なども含む。）を使って書く場合はどちらを選択しますか、選択することが多い方を選んでください。

(a) (n=2,179)

(b) (n=1,368)

* (a) は全数が対象者、(b) は「パソコン・ワープロ等を全く使わない」の811人を除いた対象者

どちらとも同じ
頻度で書く(選ぶ)
↓
分らない



七つの例文を挙げて、(a)手書きの場合と(b)パソコン・ワープロ等(携帯電話なども含む。)を使って書く場合に、平仮名で表記するか漢字で表記するかについて尋ねた。

共通して見られる特徴は、(a)手書きよりも(b)パソコン・ワープロ等を使う場合の方が漢字での表記をする人の割合が高くなっていることである。

まず、手書きで書く場合に漢字で表記すると答えた人の割合が高い順に、「(1)朝の9時ゴロに迎えに行きます」(80.6%)、「(4)さっき話していたのはダレですか」(80.5%)、「(5)マクラが高くて寝付けなかった」(77.9%)が8割前後となっている。「(3)豊かな心をハグクむ」(57.7%)は6割弱で、平仮名で「はぐくむ」(30.7%)と表記すると回答した人を27ポイント上回る。「(2)朝のアイサツをしよう」(47.9%)は5割を切るが、「あいさつ」(42.5%)と平仮名で表記すると回答した人を若干上回る。

「(7)互いの認識にソゴを来した」(5.6%)、「(6)みんなにヒンシュクを買った」(4.6%)は1割未満にとどまり、「ひんしゆく」、「そご」と平仮名で表記ずるとした人が圧倒的に多くなっている。

次に、パソコン・ワープロ等を使って書く場合に漢字で表記すると答えた人の割合が高い順に、「(5)マクラが高くて寝付けなかった」(93.9%)、「(4)さっき話していたのはダレですか」(92.9%)、「(1)朝の9時ゴロに迎えに行きます」(89.8%)と手書きでも上位3位に挙げられた例文は、更に9割前後の高い割合となっている。「(2)朝のアイサツをしよう」(85.9%)、「(3)豊かな心をハグクむ」(84.8%)は、手書きの場合と比べ37~38ポイント高くなり、8割強に及んでいる。「(7)互いの認識にソゴを来した」(28.5%)、「(6)みんなにヒンシュクを買った」(28.2%)も手書きの場合と比べ、23~24ポイント高くなっているが、それでも「そご」、「ひんしゆく」と平仮名で表記ずるとした人が過半数を超えている。

以下、(1)~(7)のそれぞれについて、地域ブロック別、性別、性・年齢別に見ていく。

(1) 朝の9時ごろに迎えに行きます

地域ブロック別に見ると、「頃」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は8割前後で差が見られないが、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は四国(71.9%)で低く、「どちらとも同じ頻度で選ぶ」(21.9%)が他の地域ブロックよりも高くなっている。

性別に見ると、手書きの場合でもパソコン・ワープロ等を使って書く場合でも女性の方が「頃」と漢字で表記する人の割合が高くなっている。

性・年齢別に見ると、「頃」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は男性の16～19歳(66.7%)と60歳以上(73.0%)で低く、これらの年齢層では「ごろ」と回答した人が2割程度となっている。また、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、「頃」の割合は男性の60歳以上(83.0%)でやや低くなっている(表9参照)。

表9 表記の仕方(1)朝の9時ごろに迎えに行きます(地域ブロック別、性別、性・年齢別)

(%)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	ごろ	頃	同じ頻度 で書く	n	ごろ	頃	同じ頻度 で選ぶ
総数	2,179	12.1	80.6	6.7	1,368	5.0	89.8	5.0
[地域ブロック]								
北海道	94	13.8	77.7	7.4	43	11.6	83.7	4.7
東北	164	15.2	79.3	3.7	95	6.3	90.5	3.2
関東	709	12.0	81.2	6.5	489	5.3	88.8	5.7
北陸	102	12.7	80.4	6.9	65	3.1	90.8	6.2
中部	308	10.1	83.4	6.2	199	6.5	89.9	3.0
近畿	347	12.4	80.4	6.9	233	1.7	93.1	5.2
中国	128	10.9	80.5	8.6	71	5.6	91.5	2.8
四国	75	9.3	80.0	10.7	32	6.3	71.9	21.9
九州	252	12.7	77.8	7.5	141	5.0	92.2	2.8
[性別]								
男性	982	14.6	77.2	7.4	657	6.5	88.0	5.5
女性	1,197	10.0	83.4	6.2	711	3.7	91.6	4.5
[性・年齢]								
男性・16～19歳	45	20.0	66.7	13.3	39	7.7	87.2	5.1
20～29歳	89	14.6	77.5	7.9	80	7.5	87.5	5.0
30～39歳	156	10.9	82.1	7.1	143	3.5	92.3	4.2
40～49歳	141	9.2	83.0	7.1	124	4.0	90.3	5.6
50～59歳	192	13.0	79.2	7.3	130	6.9	86.9	6.2
60歳以上	359	18.4	73.0	7.0	141	10.6	83.0	6.4
女性・16～19歳	38	5.3	78.9	15.8	36	2.8	86.1	11.1
20～29歳	111	9.9	82.9	7.2	100	4.0	91.0	5.0
30～39歳	205	8.3	86.3	5.4	175	2.3	93.7	4.0
40～49歳	219	5.5	86.8	7.3	177	3.4	92.1	4.5
50～59歳	233	9.9	87.1	3.0	134	6.0	92.5	1.5
60歳以上	391	14.1	78.3	6.6	89	3.4	87.6	6.7

(2)朝のアイサツをしよう

地域ブロック別に見ると、「挨拶」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は北海道（53.2%）、関東（50.5%）、近畿（52.2%）、中国（52.3%）、四国（54.7%）で5割を上回っている。一方、北陸（38.2%）では4割を下回り、「あいさつ」と平仮名で表記すると答えた人の割合が5割を上回っている。パソコン・ワープロ等を使って書く場合は四国（71.9%）でのみ8割を切り、「どちらとも同じ頻度で選ぶ」（21.9%）が高くなっている。

性別に見ると、「挨拶」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は男性（50.2%）が女性（46.0%）よりも高くなっているが、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は差が見られない。

性・年齢別に見ると、「挨拶」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は男女とも年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、男女とも30代より下の年齢層では「あいさつ」と平仮名で表記すると答えた人の割合の方が高くなっている。50代より上の年代では「挨拶」と漢字で表記する人の割合が5割以上を占めている。また、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、「挨拶」の割合は女性の50代と60歳以上で9割を超えるが、男女の16～19歳で低くなっている（表10参照）。

表10 表記の仕方（2）朝のアイサツをしよう（地域ブロック別、性別、性・年齢別）

(%)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	あいさつ	挨拶	同じ頻度 で書く	n	あいさつ	挨拶	同じ頻度 で選ぶ
総数	2,179	42.5	47.9	8.7	1,368	8.7	85.9	5.3
〔地域ブロック〕								
北海道	94	37.2	53.2	8.5	43	11.6	83.7	4.7
東北	164	49.4	40.9	6.7	95	11.6	82.1	6.3
関東	709	40.8	50.5	8.2	489	8.4	86.3	5.1
北陸	102	56.9	38.2	4.9	65	6.2	84.6	9.2
中部	308	50.3	40.6	8.8	199	8.0	87.4	4.0
近畿	347	39.5	52.2	7.5	233	7.3	88.4	4.3
中国	128	35.2	52.3	12.5	71	8.5	87.3	4.2
四国	75	29.3	54.7	16.0	32	6.3	71.9	21.9
九州	252	41.7	46.0	10.3	141	12.1	84.4	3.5
〔性別〕								
男性	982	40.7	50.2	7.9	657	10.0	85.1	4.9
女性	1,197	44.0	46.0	9.3	711	7.5	86.6	5.6
〔性・年齢〕								
男性・16～19歳	45	73.3	20.0	6.7	39	25.6	64.1	10.3
20～29歳	89	50.6	41.6	7.9	80	10.0	83.8	6.3
30～39歳	156	58.3	34.0	7.1	143	11.9	86.7	1.4
40～49歳	141	45.4	46.8	7.1	124	8.1	85.5	6.5
50～59歳	192	35.4	55.2	8.3	130	5.4	89.2	5.4
60歳以上	359	27.6	61.8	8.6	141	9.9	85.8	4.3
女性・16～19歳	38	73.7	18.4	7.9	36	8.3	75.0	16.7
20～29歳	111	66.7	27.0	6.3	100	14.0	80.0	6.0
30～39歳	205	57.6	36.6	5.9	175	7.4	87.4	5.1
40～49歳	219	42.9	44.3	12.3	177	7.9	84.7	7.3
50～59歳	233	35.2	51.5	12.9	134	5.2	93.3	1.5
60歳以上	391	33.5	56.8	8.2	89	2.2	91.0	4.5

(3)豊かな心をハグクむ

地域ブロック別に見ると、「育む」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合でも、パソコン・ワープロ等を使って書く場合でも、北陸で他の地域ブロックより低くなっている。

性別に見ると、手書きの場合、パソコン・ワープロ等を使って書く場合とも女性の方が「育む」と漢字で表記する人の割合が高くなっている。

性・年齢別に見ると、「育む」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合でもパソコン・ワープロ等を使って書く場合でも男性の16～19歳で最も低くなっており、「はぐくむ」と平仮名で表記する人の割合が他の年齢層に比べ、目立って高い(表11参照)。

表11 表記の仕方 (3)豊かな心をハグクむ (地域ブロック別, 性別, 性・年齢別)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	はぐくむ	育む	同じ頻度 で書く	n	はぐくむ	育む	同じ頻度 で選ぶ
総数	2,179	30.7	57.7	8.3	1,368	10.4	84.8	4.2
〔地域ブロック〕								
北海道	94	35.1	54.3	7.4	43	11.6	81.4	7.0
東北	164	31.1	56.7	6.1	95	5.3	88.4	6.3
関東	709	27.5	59.9	9.0	489	9.4	85.5	4.3
北陸	102	46.1	42.2	9.8	65	20.0	73.8	6.2
中部	308	30.2	57.8	11.4	199	12.1	84.4	3.0
近畿	347	29.7	60.8	6.9	233	11.6	83.7	4.3
中国	128	29.7	61.7	7.8	71	7.0	90.1	1.4
四国	75	28.0	60.0	6.7	32	3.1	87.5	9.4
九州	252	34.5	52.4	6.3	141	11.3	85.1	2.1
〔性〕								
男性	982	33.6	53.4	9.4	657	13.4	81.1	4.9
女性	1,197	28.2	61.2	7.4	711	7.6	88.2	3.5
〔性・年齢〕								
男性・16～19歳	45	48.9	33.3	15.6	39	30.8	66.7	2.6
20～29歳	89	32.6	53.9	10.1	80	11.3	86.3	2.5
30～39歳	156	30.8	59.6	7.7	143	8.4	88.1	3.5
40～49歳	141	30.5	55.3	8.5	124	8.9	82.3	8.1
50～59歳	192	29.2	56.8	11.5	130	14.6	76.2	6.9
60歳以上	359	36.8	50.4	8.4	141	17.7	78.7	3.5
女性・16～19歳	38	31.6	57.9	10.5	36	11.1	80.6	8.3
20～29歳	111	26.1	62.2	9.0	100	10.0	84.0	5.0
30～39歳	205	22.9	68.3	7.8	175	6.9	89.1	4.0
40～49歳	219	21.5	68.0	7.8	177	7.3	88.7	4.0
50～59歳	233	27.0	65.2	6.4	134	9.0	90.3	0.7
60歳以上	391	35.8	51.4	6.9	89	3.4	89.9	2.2

(4) さっき話していたのはダレですか

地域ブロック別に見ると、「誰」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は北海道(75.5%)、北陸(70.6%)、九州(76.2%)で7割台となっているが、他の地域ブロックでは8割を超えている。パソコン・ワープロ等を使って書く場合は四国(84.4%)を除くすべての地域で9割を超えている。

性別には、手書きの場合でもパソコン・ワープロ等を使って書く場合でも差が見られない。

性・年齢別に見ると、「誰」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は男性の16～19歳と女性の60歳以上で7割台にとどまり、女性の60歳以上では「だれ」と回答した人が2割となっている。また、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、「誰」の割合は男女とも16～19歳と60歳以上で8割台となっており、他(9割台)と比べて低くなっている(表12参照)。

表12 表記の仕方(4) さっき話していたのはダレですか(地域ブロック別、性別、性・年齢別)

(%)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	だれ	誰	同じ頻度 で書く	n	だれ	誰	同じ頻度 で選ぶ
総数	2,179	12.3	80.5	6.5	1,368	2.4	92.9	4.5
[地域ブロック]								
北海道	94	16.0	75.5	7.4	43	2.3	90.7	7.0
東北	164	13.4	81.7	2.4	95	2.1	95.8	2.1
関東	709	12.4	81.2	6.2	489	3.3	91.4	5.1
北陸	102	18.6	70.6	10.8	65	3.1	90.8	6.2
中部	308	9.7	84.4	5.8	199	2.5	94.0	3.0
近畿	347	10.7	81.8	6.9	233	1.7	94.4	3.9
中国	128	13.3	81.3	5.5	71	1.4	97.2	1.4
四国	75	5.3	82.7	12.0	32	3.1	84.4	12.5
九州	252	14.7	76.2	6.7	141	0.7	93.6	5.7
[性別]								
男性	982	12.5	79.9	6.6	657	2.7	92.8	4.4
女性	1,197	12.2	81.0	6.3	711	2.1	93.0	4.6
[性・年齢]								
男性・16～19歳	45	15.6	75.6	8.9	39	-	89.7	10.3
20～29歳	89	11.2	86.5	2.2	80	3.8	92.5	3.8
30～39歳	156	9.0	84.6	6.4	143	0.7	97.9	1.4
40～49歳	141	11.3	80.1	8.5	124	2.4	91.1	6.5
50～59歳	192	10.4	81.8	6.8	130	2.3	94.6	3.1
60歳以上	359	15.6	75.8	6.7	141	5.7	88.7	5.7
女性・16～19歳	38	2.6	84.2	13.2	36	2.8	86.1	11.1
20～29歳	111	5.4	82.0	12.6	100	3.0	91.0	6.0
30～39歳	205	8.3	86.3	5.4	175	1.7	93.7	4.6
40～49歳	219	8.7	85.8	5.0	177	2.3	93.8	4.0
50～59歳	233	9.9	83.7	6.4	134	2.2	96.3	1.5
60歳以上	391	20.5	73.4	5.1	89	1.1	89.9	6.7

(5) マクラが高くて寝付けなかった

地域ブロック別に見ると、「枕」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は関東(80.5%)、中部(80.2%)、近畿(80.7%)で8割に達している。一方、東北(70.7%)では約7割で、「まくら」(22.0%)と平仮名で表記すると答えた人が2割を超えている。パソコン・ワープロ等を使って書く場合は「枕」と漢字で表記する人の割合は、四国(87.5%)でのみ9割を切っている。

性別に見ると、「枕」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合もパソコン・ワープロ等を使って書く場合も女性の方が高くなっている。

性・年齢別に見ると、「枕」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は女性の50代では9割に達しているが、男性の16～19歳で5割台、男女の20代で7割弱と低く、これらの年齢層では「まくら」と平仮名で表記する人の割合が男性の16～19歳で4割強、男女の20代で2割強と高くなっている。また、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、「枕」の割合は男女とも16～19歳を除くすべての年齢層で9割を超えている(表13参照)。

表13 表記の仕方(5)マクラが高くて寝付けなかった(地域ブロック別、性別、性・年齢別)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	まくら	枕	同じ頻度で書く	n	まくら	枕	同じ頻度で選ぶ
総数	2,179	15.1	77.9	6.1	1,368	3.1	93.9	2.9
[地域ブロック]								
北海道	94	19.1	71.3	8.5	43	-	97.7	2.3
東北	164	22.0	70.7	3.7	95	1.1	94.7	4.2
関東	709	13.5	80.5	5.6	489	3.7	93.3	2.7
北陸	102	13.7	75.5	10.8	65	3.1	93.8	3.1
中部	308	14.3	80.2	5.5	199	1.0	95.5	3.0
近畿	347	13.3	80.7	5.8	233	3.9	93.1	3.0
中国	128	17.2	76.6	6.3	71	5.6	93.0	1.4
四国	75	10.7	76.0	13.3	32	6.3	87.5	6.3
九州	252	18.3	73.4	5.6	141	2.8	95.0	2.1
[性別]								
男性	982	16.9	74.9	7.2	657	4.3	92.1	3.7
女性	1,197	13.7	80.4	5.3	711	2.0	95.5	2.1
[性・年齢]								
男性・16～19歳	45	44.4	51.1	4.4	39	15.4	76.9	7.7
20～29歳	89	21.3	68.5	10.1	80	6.3	90.0	3.8
30～39歳	156	19.2	73.7	7.1	143	3.5	95.8	0.7
40～49歳	141	12.8	78.7	7.8	124	0.8	92.7	6.5
50～59歳	192	12.5	79.7	6.3	130	3.1	93.1	3.8
60歳以上	359	15.3	76.0	7.2	141	5.0	92.2	2.8
女性・16～19歳	38	15.8	71.1	13.2	36	5.6	83.3	11.1
20～29歳	111	21.6	66.7	11.7	100	4.0	95.0	1.0
30～39歳	205	15.6	81.0	3.4	175	2.3	95.4	2.3
40～49歳	219	8.7	83.6	7.3	177	1.7	96.6	1.7
50～59歳	233	7.7	90.1	2.1	134	0.7	99.3	-
60歳以上	391	16.6	77.2	4.3	89	-	93.3	3.4

(6) みんなにヒンシュクを買った

地域ブロック別に見ると、「響蹙」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合はいずれも1割に届かず、「ひんしゅく」と平仮名で表記する人の割合が圧倒的に高い。パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、漢字で表記する人の割合は東北(37.9%)で高く、北陸(9.2%)で低くなっている。

性別に見ると、手書きの場合は差が見られないが、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は「ひんしゅく」(男性61.0%、女性56.1%)と平仮名で表記する人の割合が男性で高くなっている。

性・年齢別に見ると、「響蹙」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は男性の50代(7.8%)と女性の60歳以上(7.2%)でやや高いが、どの年齢層でも「ひんしゅく」と平仮名で表記する人の割合が圧倒的である。また、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、「響蹙」と漢字で表記する人の割合は女性の50代(41.0%)、60歳以上(39.3%)で4割前後と高く、女性の20代(15.0%)で低くなっている(表14参照)。

表14 表記の仕方(6)みんなにヒンシュクを買った(地域ブロック別、性別、性・年齢別)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	ひんしゅく	響蹙	同じ頻度で書く	n	ひんしゅく	響蹙	同じ頻度で選ぶ
総数	2,179	80.8	4.6	3.5	1,368	58.5	28.2	5.7
[地域ブロック]								
北海道	94	85.1	8.5	1.1	43	62.8	30.2	2.3
東北	164	78.0	4.3	1.2	95	50.5	37.9	6.3
関東	709	81.2	3.8	5.2	489	58.3	29.4	5.7
北陸	102	90.2	1.0	4.9	65	75.4	9.2	10.8
中部	308	82.8	4.9	3.6	199	59.8	27.1	6.5
近畿	347	77.5	6.1	2.9	233	54.1	27.9	5.6
中国	128	78.9	8.6	3.1	71	62.0	29.6	2.8
四国	75	73.3	1.3	2.7	32	43.8	28.1	9.4
九州	252	81.3	4.0	1.6	141	62.4	27.0	3.5
[性別]								
男性	982	81.1	4.8	3.3	657	61.0	27.2	4.9
女性	1,197	80.6	4.5	3.7	711	56.1	29.1	6.5
[性・年齢]								
男性・16～19歳	45	93.3	2.2	-	39	66.7	20.5	2.6
20～29歳	89	83.1	-	3.4	80	57.5	25.0	2.5
30～39歳	156	91.0	1.9	2.6	143	65.0	25.2	4.9
40～49歳	141	82.3	4.3	3.5	124	60.5	29.8	4.8
50～59歳	192	78.1	7.8	2.1	130	60.0	24.6	6.2
60歳以上	359	75.8	6.1	4.5	141	58.9	32.6	5.7
女性・16～19歳	38	78.9	2.6	-	36	58.3	25.0	8.3
20～29歳	111	83.8	0.9	4.5	100	69.0	15.0	7.0
30～39歳	205	90.7	2.0	2.9	175	63.4	24.0	7.4
40～49歳	219	84.9	4.1	2.3	177	53.1	28.8	8.5
50～59歳	233	81.5	4.7	4.3	134	47.8	41.0	3.7
60歳以上	391	71.6	7.2	4.6	89	44.9	39.3	3.4

(7) 互いの認識に「ソゴ」を来した

地域ブロック別に見ると、「齟齬」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合は北海道(10.6%)でのみ1割を超えているが、「そご」と平仮名で表記する人の割合が圧倒的に高い。パソコン・ワープロ等を使って書く場合も北海道(37.2%)で高くなっている。北陸(9.2%)では、他の地域ブロックが2割以上になっている中、割合の低さが目立つ。

性別に見ると、手書きの場合でも、パソコン・ワープロ等を使って書く場合でも「齟齬」と漢字で表記する人の割合が男性で高くなっている。

性・年齢別に見ると、「齟齬」と漢字で表記する人の割合は、手書きの場合もパソコン・ワープロ等を使って書く場合も、男女ともおおむね年齢の高い層で割合も高くなる傾向が見られる。手書きの場合は、すべての年齢層で1割を超えないので、その差も小さいが、パソコン・ワープロ等を使って書く場合は、若年層では2割前後であるのに対し、男女とも60歳以上では4割近くになっている(表15参照)。

表15 表記の仕方 (7)互いの認識に「ソゴ」を来した(地域ブロック別, 性別, 性・年齢別)

(%)

	(a) 手書きの場合				(b) パソコン・ワープロ等の場合			
	n	そご	齟齬	同じ頻度で書く	n	そご	齟齬	同じ頻度で選ぶ
総数	2,179	70.9	5.6	3.0	1,368	52.7	28.5	5.6
[地域ブロック]								
北海道	94	75.5	10.6	2.1	43	51.2	37.2	2.3
東北	164	68.3	4.3	0.6	95	54.7	28.4	6.3
関東	709	68.0	5.5	4.7	489	51.3	30.3	5.1
北陸	102	82.4	2.9	1.0	65	69.2	9.2	12.3
中部	308	79.9	5.2	2.9	199	57.3	26.6	7.5
近畿	347	68.0	7.2	2.3	233	45.5	30.9	4.7
中国	128	68.0	6.3	5.5	71	53.5	33.8	2.8
四国	75	56.0	1.3	1.3	32	37.5	25.0	6.3
九州	252	73.8	4.8	1.2	141	57.4	25.5	4.3
[性別]								
男性	982	70.4	7.6	3.2	657	52.5	30.3	5.2
女性	1,197	71.4	3.8	2.8	711	52.9	26.9	5.9
[性・年齢]								
男性・16～19歳	45	86.7	4.4	-	39	59.0	23.1	7.7
20～29歳	89	75.3	3.4	2.2	80	53.8	21.3	2.5
30～39歳	156	75.0	5.8	3.8	143	50.3	30.8	5.6
40～49歳	141	73.8	7.1	3.5	124	53.2	29.0	6.5
50～59歳	192	69.3	8.9	2.1	130	53.8	29.2	4.6
60歳以上	359	64.3	9.5	3.9	141	50.4	39.0	5.0
女性・16～19歳	38	76.3	2.6	-	36	58.3	19.4	11.1
20～29歳	111	76.6	1.8	2.7	100	62.0	16.0	4.0
30～39歳	205	80.5	2.0	2.9	175	58.3	23.4	8.6
40～49歳	219	80.8	1.4	2.7	177	52.5	26.6	5.6
50～59歳	233	71.7	4.7	3.0	134	44.8	35.1	4.5
60歳以上	391	59.3	6.4	3.1	89	42.7	37.1	3.4